



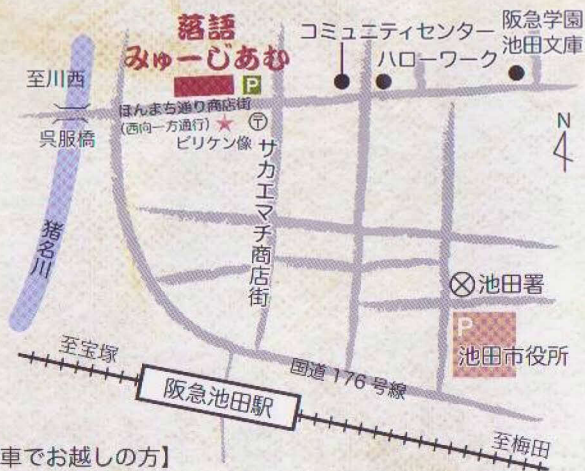
落語みゅーじあむ

池田市立上方落語資料展示館



www.ikedashi-kanko.jp

落語みゅーじあむ Rakugo Museum



【電車でお越しの方】

阪急電車宝塚線「池田駅」(阪急梅田駅から急行で約20分)
栄町方面へ徒歩約7分

【お車でお越しの方】

専用駐車場はございません。お近くの駐車場をご利用ください。

〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3

電話：072-753-4440 FAX：072-753-4447

開館時間：11時～19時

休館日：火曜日、年末年始※火曜日祝日の場合は翌日休館

入館料：無料 (落語会などは木戸銭が必要です)

指定管理者：落・楽倶楽部『いけだ』

名誉館長 桂 文枝

スタッフ：10名

プロデューサー：1名



IKEDASHI RAKUGO MUSEUM

ご挨拶

名誉館長

桂文枝



池田の名前が入った上方落語が二つもあるのをご存知ですか？「池田の猪買い」と「池田の牛ほめ」です。もともとは四百年前に作られたであろう落語にタイトルはありませんでした。二百年ほど前に今の形になった落語の、楽屋でのネタ帳に「これこれの落語を演じましたと書かれたのが現在の落語のタイトルになっているものがほとんどです。二つとも元々は池田とついていなかったのに、どうして池田の地名が入るようになったのか、たぶん、大阪のお客様には池田は、誰でもが知っていて、あこがれの地だったからではないでしょうか？

ここ、落語みゅーじあむでは、池田のネタを先ずは知っていたらこうと落語講座も開いています。お住まいになっている土地をもっとよく知るために、ぜひともご参加下さい。そしてこれから、みゅーじあむを市民の皆様によりよく利用していただける楽しい施設にするために、私も市民の一人として努力して参ります。どうかよろしく、お願い申し上げます。



池田市長 倉田 薫

歴史と伝統・文化のまち池田

池田銀行発祥の地に「池田落語みゆーじあむ」があり、落語ファンはもとより、市内外の多くの方々にお楽しみいただける観光施設との連携のもと、運営いたしております。名誉館長の桂文枝師匠をはじめ、上

方落語協会のご協力で「落語のまち、笑いのまち、元気なまち池田」を目指し、日々努力しています。皆さんミュージアム・ツーリズムのまち池田にお気軽に何度でも足をお運び下さい。

館内マップ



高座

お囃子道具も揃った楽しい舞台。落語会やアマチュア落語家講座等を開催しております。

池田の「牛ほめ」「猪買い」コーナー

「牛ほめ」のミニチュア模型や、「猪買い」のパネル等を展示。見て、触れて楽しむことができます。

上方落語情報

各地で開催される落語会や、落語関係のイベント情報満載です。

みやげコーナー

お立ち寄りの記念やお土産に、びったりのグッズを揃えています。新作も随時登場！

池田の「猪買い」パネルコーナー

井池筋から池田までの道のりを、写真と文章で楽しむことができます。

図書コーナー

今では貴重なレコード音源、江戸時代からの噺家や、上方落語の資料を豊富に揃えています。絵本等もあり、お子様も楽しめます。

特別展示コーナー

桂文枝師匠ご提供、ゆかりの品々を展示しています。

噺家の楽屋

長火鉢に和箆筒、畳など、噺家の楽屋を再現しました。

映像コーナー

4台の大型ディスプレイでは、様々な角度から上方落語を詳しく紹介。社会人落語日本一決定戦のVTRも放映しています。

アマチュア落語家講座

(初級・中級・上級コース)

ネタはもちろん、独特の口調や細かなしぐさ、扇子や手ぬぐいの使い方で楽しく学べます。修了後はアマチュア落語家発表会寄席も開催。落語の奥深さを学んで、素人名人を目指しませんか？(有料)

落語みゆーじあむ寄席

毎月第二土曜日開催。多くの落語家に開かれた会として、生の高座を思う存分堪能できます。(要木戸銭 前売千円 当日千五百円 ※お電話での予約可)

出前寄席

個性豊かなアマチュア落語家が「笑い」をお届けします！自前の落語会を開催して、私達と一緒に落語を楽しみませんか？(出演費・交通費程度)

